

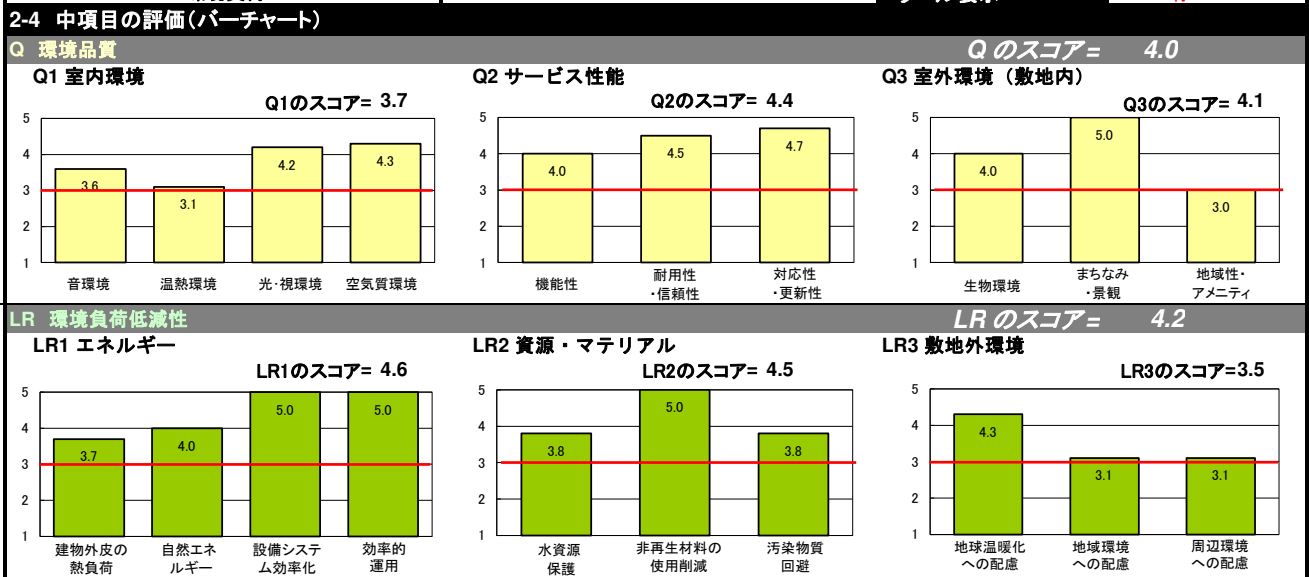
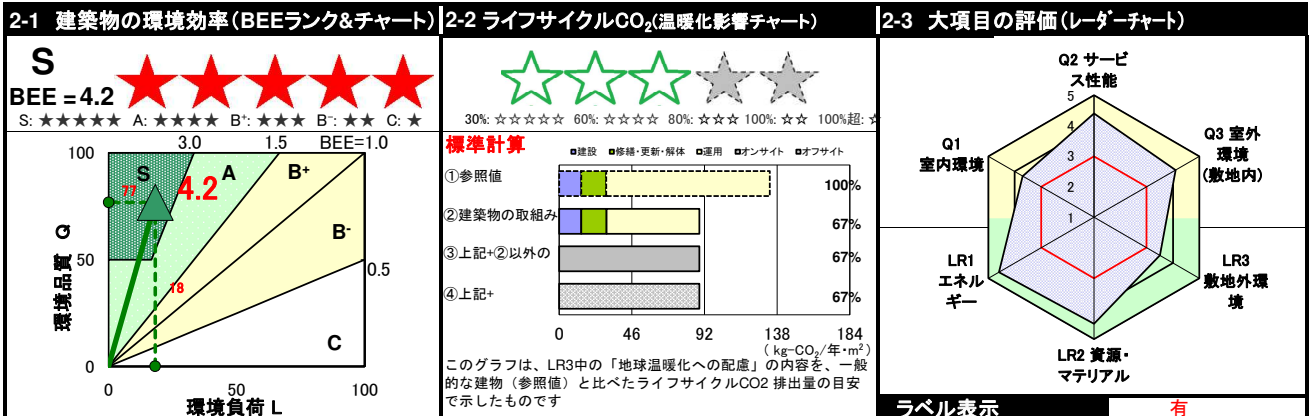


建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|--------------------------|--------|--|
| 建物名称 | (仮称)御堂筋ダイビル建替計画 | | |
| 建設地 | 中央区南久宝寺町4丁目 | | |
| 建築用途 | 事務所・物販店舗・飲食店舗・自動車車庫 | | |
| 建築主 | ダイビル(株) | | |
| 設計者 | (株)日建設計 | | |
| 敷地面積 | 1,491.92 m ² | | |
| 建築面積 | 1,101.56 m ² | | |
| 延床面積 | 20,275.57 m ² | | |
| 構造/階数 | S造 / 地上20階、地下1階、塔屋1階 | | |
| 完了年(予定) | 2024年1月 | | |



| 3 設計上の配慮事項 | |
|--|--|
| 総合 | その他 |
| 低層部への積極的な緑化だけでなく、フィンと複層ガラスを使用することによって高い外皮性能とし、自然換気システムや既存躯体の利用等環境への配慮を積極的に行った。 | 地下ビットに消防水利用の水槽を計画することで、敷地周辺の火災等の災害際に貢献できる計画としている。 |
| Q1 室内環境 VOC放散量が少ない建材を全面的に採用。 換気計画(自然換気・機械換気とも)に最大限配慮。 CO ₂ 濃度の監視が可能な計画。 | Q2 サービス性能 高い耐震性の確保。 維持管理しやすいマテリアルの採用、長期の耐久性材料の使用。 階高4.2m、天井高2.8mの大空間事務室。 設備の信頼性・更新性の高い計画。 |
| Q3 室外環境(敷地内) 立地特性に応じた緑化計画や緑量の確保。 低層階のテラス空間を用いた豊かな中間領域の形成。 御堂筋デザインガイドラインをもとにした、まちなみ・景観への最大限の配慮。 | LR1 エネルギー 高効率機器の採用、変流量・変風量制御、CO ₂ 制御、外気冷房、太陽光パネル、自然換気の採用による消費エネルギーの削減。 |
| LR2 資源・マテリアル 高強度の構造材を使用することで、材料使用量の削減に配慮。 節水型器具、自動水栓器具の採用による節水の徹底。 雨水利用システムの採用。 フロン・ハロンの排出を極力回避。 | LR3 敷地外環境 既存躯体継続使用、躯体材料・躯体材料以外へのリサイクル材の使用等により、省CO ₂ に配慮。 駐車場の確保による交通負荷の軽減。 廃棄物の分別・各階のカート置場の確保等廃棄物負荷抑制への配慮。 |

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 4.2

ラベル表示



| 環境性能 | 評価点 |
|----------------------|-------|
| (1)CO2削減 | 4.0 |
| CO2削減に配慮した環境性能 | 概要記入欄 |
| LR3/ 1 / / 地球温暖化への配慮 | 4.3 |
| 配慮事項 | |

| 環境性能 | 評価点 |
|--------------------------|-------|
| (2)みどり・ヒートアイランド対策 | 4.0 |
| みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能 | 概要記入欄 |
| Q3 / 1 / / 生物環境の保全と創出 | 4.0 |
| Q3 / 3 / 3.2/ 敷地内温熱環境の向上 | 3.0 |
| LR3/ 2 / 2.2/ 温熱環境悪化の改善 | 3.0 |
| 配慮事項 | |

| 環境性能 | 評価点 |
|---------------------|-------|
| (3)建物の断熱性 | 4.0 |
| CO2削減に配慮した環境性能 | 概要記入欄 |
| LR1/ 1 / / 建物の熱負荷抑制 | 3.7 |
| 配慮事項 | |

| 環境性能 | 評価点 |
|------------------------|-------|
| (4)エネルギー削減 | 5.0 |
| CO2削減に配慮した環境性能 | 概要記入欄 |
| LR1/ 3 / / 設備システムの高効率化 | 5.0 |
| 配慮事項 | |

省エネルギー基準計算結果

| | |
|------------|----|
| 基準 適合状況 | 適合 |
|------------|----|

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

| | | |
|------------|-------------------------|--|
| | 住宅部分 (品確法等級) | 非住宅部分[BEI][BEIm] |
| 外皮性能 | 対象外 (相当) | 0.92 |
| 一次エネルギー消費量 | 建物全体[BEI][BEIm] 0.60 | 住宅部分[BEI] - 非住宅部分[BEI][BEIm] 0.60 |